

藤 沢

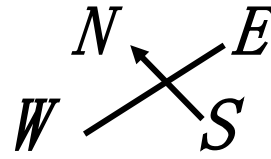
2021年10月1日

第329号

# エコネット

藤沢環境運動市民連絡会議

(略称) 藤沢エコネット



主  
な  
記  
事

- ・コロナ危機と気候危機
- ・「花はどこへ行った」を見て
- ・藤沢母親大会と感想
- ・放射能測定値
- ・パブリックコメントに参加を

<http://econet2015.sakura.ne.jp>

事務局 e-mail: [aoyagipc@jcom.home.ne.jp](mailto:aoyagipc@jcom.home.ne.jp) 青柳

☎ / F A X 0466-87-4922

## コロナ対策の失敗で退陣した菅内閣の たらい回し政権か、政権交代か、今度の選挙の最大の争点 ー選挙に行って政治を変えようー

去る9月3日、菅首相は「コロナ対策と自民党総裁選挙は両立出来ない」と言って、総裁選への出馬を取り止めた。コロナ対策で失敗し国民の内閣支持率は20数%に落ち込み、追い詰められ、自ら首相は止めるという決断に至ったもの。菅内閣の失敗の原因は、大規模PCR検査を拒絶したことや、ワクチン接種の遅れ等、科学的対策の軽視が最大の要因である。数度にわたる緊急事態宣言もその度に失敗し、さらに多くの国民がその開催に反対したにもかかわらず、オリンピック、パラリンピックの開催を強行し、この間、感染者を急激に増大させた事も菅内閣の責任であると言わなければならない。

また、国民の声を聞かず、上意下達の強権政治も菅内閣の最大の悪政であった。学会議員人選も、菅内閣の気に入らない人物を理由も言わずに排除したり、開示請求のあった公文書を墨塗りでしか開示しなかったり、憲法で決められた国会の開催を拒否したり、菅内閣の独断で政治を進めてきた事も問題であった。さらに、国連の核兵器禁止条約の批准には反対し、気候危機問題も50年度までに100%削減を目指すと言いながら、石炭火力発電所や、原子力発電に依存し続けると言ったまやかしの計画になっている。

こうした中で、自民党総裁選挙が行われ、岸田、河野、高市、野田の4氏が名乗りを上げ岸田氏が選ばれたが、基本的にはこれまでの安倍・菅内閣を継承するものとなっており、コロナ対策にしても、「改憲」指向の点でも、平和問題にしても、環境問題にしても従来の自民党政治と変わりばえないものとなっている。

今度の総選挙では、自民党の従来の政治を継続するたらい回し政権を許すのか、市民と野党の協力で新しい政権を造るのが最大の争点となっている。横浜市長選挙では、市民と野党が共闘し、多くの無党派の人々が選挙に行けば、政治を変えられるということが実証された。その意味で、戦後政治が変わるのか、新しい政治が始まるのか、もっとも注目すべき選挙になっているといわなければならない。

(小林 麻須男)



ハギ (白い萩)

## 科学に従った対策を！ ……コロナ危機と気候危機……

(8月号の続き)

ウイルスは変異を続けるもの。人の間で流行していく限り、今後も新型コロナウイルスは変異を続け感染力の強く、急速に病状が進行する「デルタ株」が猛威をふるっている。感染爆発を抑え込むにはどうするか？ 無症状者の間での拡がりを放置していると一旦収まったかに見えても感染爆発の波がまた起きてしまう。

科学的対策では、実効再生産数が1以下になること。そして、人口の一定割合以上の人が免疫を持つこと(集団免疫)で感染爆発を抑えることができる。新型コロナでは、免疫獲得者が60～75%に達すると蔓延は終息すると考えられていたが、90%位かも知れないといわれている。

感染力の強い変異株が生まれ、2回のワクチン接種では効果が十分発揮されないらしい。また、6～8か月を過ぎると効果が弱くなる統計等があり、先進国や日本では3回目のワクチン接種を行う準備を始めている。一方、途上国では1回目のワクチン接種もままならない状態では、世界的に見るとパンデミックは収まらないので、WHOはワクチン供給を公平に進めることを求めている。

大量のワクチンが必要である。遺伝子組換えによる方法(mRNA、DNA ワクチン)ではウイルスの大量増殖は行わず、ウイルスの遺伝子情報が分かれば、ワクチン用の遺伝子を設計し、これをもとにmRNAの大量生産を短時間で行うので、ウイルスそのものがなくてもワクチンは作ることができる。この方法の利点は、遺伝子の変異してもその遺伝子情報に合わせて変異株に迅速に対応したワクチンを作り替えることができる。

今後のパンデミックに対応するためには、国産ワクチンを作ることが急務である。国を挙げた取り組みが必要。次々と変異株が出現する時間との勝負である。今回のパンデミックでは、2億人を越える人が感染しているので、変異も非常に多く起こっているはずである。そのために、変異株の遺伝子情報の公開、迅速なワクチン製造の国際協力が不可欠。

コロナのパンデミックを克服するため、人類共通の脅威として、全世界で科学的知見を基にした総力を挙げた国際協力体制をつくる必要がある。バイデ

ン大統領は行動指針の改定に当たって「昨年と違って今は科学的知見も感染防止の手段もある。科学に従うこと」を強調している。我が国の政治リーダーにも求められている。

気候危機も基本は同じである。30年間1回もなかった現象(異常気象)が毎年起きている。藤沢市はこの2月に「気候非常事態宣言」を表明し、現在、環境審議会は「地球温暖化対策実行計画」の見直しで、2030年のCO<sub>2</sub>排出削減46.2%の目標案を示し、パブリックコメントを実施することになった(選挙以外で政策決定に参加する機会)。気候危機に対処する実効性のある計画を藤沢市で市民、事業者、行政などが共に力を合わせ作り上げようではないか。

気候危機とコロナ危機—人類共通の脅威として世界が連帯して力を合わせ、科学的根拠に基づく対策を取れば、コロナパンデミックも気候危機も止められる。止めなければならない。コロナ危機と気候危機、どちらも人類が作り出した危機。人類が力を合わせれば乗り越えられる。科学はそこまで進歩している。あとは、政策決定者が応える番である。

(生物資源科学博士 宮地俊作)

## パブリックコメントの日程決定！

「藤沢市環境基本計画」と「藤沢市地球温暖化対策実行計画」のパブリックコメントの日程が決定致しました。期間は10/14(木)～11/12(金)まで。

9/15に「第二次素案」が審議され、そこでの意見が反映された、「修正版・第二次素案」がパブコメにかけられます。この約1か月間のパブコメが、市民が計画について意見を出せる最後の機会です。この機会を逃すと「市民からの意見はなかった」ということになってしまいます。

パリ協定に整合する2030年までの温室効果ガス削減目標は62%(2013年比)とされています。

藤沢市の計画改定にあたり、ポイントの1つがこの数値です。修正前現数値では46.2%と、前回よりも数値が上がった点は嬉しいですが、パリ協定1.5℃目標に整合しない目標では不十分だと私は考えます。将来世代にツケをこれ以上回さないよう、パブコメに参加しましょう！ (Y・F)

## 映画「花はどこへいった」をみて

本作は坂田雅子初監督作品  
2007年公開、1961年から  
72年にかけてのベトナム戦争下  
で散布された、枯葉剤が招いた甚  
大な被害を追ったドキュメンタリ  
ー映画である。フォトジャーナリ  
ストであり、本作の監督の夫であ  
るグレッグ氏が急逝した原因とし  
て枯葉剤の影響を疑った監督自身  
が調査を進めていく、その目線で映画が展開する。



その映像の中には枯葉剤によって早逝した人々、親  
が枯れ葉剤にさらされた事により、体の一部が欠損し  
た子供たちやコミュニケーションの手段を著しく限定  
された子供たち、等しく影響を受ける米兵達が映し出  
され、枯葉剤が招いた悲劇を目の当たりにする作品で  
ある。

監督の体験を、自身のナレーションと映像で紡いで  
いる本作を見て、深い感動が込み上げた。

自分をかたち作るなにかを大きく揺さぶられるよう  
な衝撃を感動と呼ぶのなら、この映画を見て得られた  
ものはまさに感動であったと思う。しかも監督ご自身  
が目の前に居られ、私たちに語り掛けて下さった。

そもそも私のベトナム戦争に対する知識があまりに  
浅かった。知識としてベトナム戦争を知っているつも  
りではあった。でも監督の経験を通じた映像で見る現  
実は想像を超えていた。

世代を渡って苦しみを与え続ける化学物質を散布し  
たアメリカが憎いと思った。だがしかし、アメリカ自  
身も自国の兵士が枯葉剤の被害に苦しみ、さらに同国  
人から”人殺し”と責められ苦しんでいる。権力者、  
大企業が引き起こした戦争の悲劇と言ってしまうに  
は、あまりに業が深い。

そして、この映画を見て、私たちがターニングポイ  
ントにいることに改めて気付かされる。

気候危機を招いた環境破壊の只中にいる私たち。自  
然環境を人災によって破壊された次世代は、私たちに  
憎しみの目を向けるのではないか。悲劇は繰り返して  
はならないと思う。

だが同時に枯葉剤による被害に苦しむ中でも、それ  
を超える愛が存在することも知った。様々な愛を訴え

る映画であった。劇中流れる美しい歌も、何日も映像  
と共に耳に残っていて私はずっと口ずさんでいた。  
坂田監督の声と映像に魅了された。この映画の続編と  
言われる”沈黙の春を生きて”も是非観たいと思っ  
ている。  
(益永由紀)

## 第47回 藤沢母親大会

9月5日、藤沢市民会館で、第47回藤沢母親大  
会が開催されました。コロナ緊急事態宣言中の困難な  
中で117名が参加、「平和と地球守るため～核兵器  
廃絶と気候危機～」と題して環境活動家、武本匡弘  
さんが講演しました。武本さんはプロダイバー、南太  
平洋や沖縄のサンゴの白化や相模湾の磯焼けなど、今  
と昔の海の中の激変ぶりを映像で訴えました。

文明生活をしていない南太平洋の島の人々が海面上  
昇で島が沈むなど地球温暖化の影響を一番受けている  
ことや気候正義という言葉が教えられました。

語り口は面白く、楽しく気候危機と平和について学  
ぶことができました。

文化行事は藤沢合唱団の「高原列車は行く」など懐  
かしい歌や演奏、平和の歌、国鉄男声合唱で癒されま  
した。藤沢母親大会アピール文の一部を紹介します。

### 第47回藤沢母親大会アピール

今年1月に50カ国以上の批准を得て発効した**核兵  
器禁止条約**は、1955年スイスのローザンヌで初めて  
開かれた世界母親大会、そして同年開かれた第1回日  
本母親大会以来求めてきた母親大会の願いをかなえる  
希望です。核兵器のない世界を求める世界中の人達の  
大きな声が実を結ぼうとしています。しかし、日本政  
府は核保有国に働きかけるなどと言いながら、米国と  
安保条約を結び、米国の核の傘で平和が守られている  
という間違った情勢判断をして、核兵器禁止条約に背  
を向けています。日本国憲法第9条の「戦争放棄、戦  
力は持たない」と誓った、国の政策によって、海外か  
ら広く信用され、日本の戦後76年間の平和は、実現  
しているのです。1日も早い日本政府の核兵器禁止  
条約の批准を求めます。(途中 省略)

『<sup>いのち</sup>生命を生み出す母親は <sup>いのち</sup>生命を育て <sup>いのち</sup>生命を守ること  
を望みます』

2021年9月5日 第47回藤沢母親大会  
(青柳節子)

## 藤沢母親大会 参加者からの感想

◆私は武本さんのお話を聞くのは2回目になりますがお話はとても良かったです。今回は地球の危機に直面している現在を分かりやすく話されました。CO2を出し続けた国はどこ？ グレタ・トゥンベリさんのやっていることに共感しました。画像を見て環境破壊の及ぼす影響が深刻でした。

私はペットボトルを使わない、買わない行動をしています。プラごみがいつも出す量が多いのはなぜ？便利だからと使っているのは大量生産と大量消費の政策の結果、たくさんのプラごみが収集日には山となって出されていることに“何とか減らせないのか”と思う日々です。

若くはない私に、どうしたら温暖化や環境破壊を食い止められるのか考えてしまいますが、社会と経済システムを変えること…のため声を上げようと呼びかけられた武本さんに励まされました。(M・Y)

◆気候危機が現代資本主義のせいで急速に進んでいること、若者たちが声を上げていること、政治のリーダーの知見が低いと国民の命を奪うこと、すべてが繋がっていることなど、今こそ、のんきにしていけないと改めて感じました。子育ての時期は終わってしまいましたが、若い人たちと共に行動したいと思いました。

文化行事の男性コーラスはハーモニーが良く新鮮でした。帰りに、プラスチックフリーのパパラギのお店に立ち寄って意識を高めようと思い、そこで歯ブラシを買いました。とても使い良くて良い品で気に入りました。(K・K)



### 放射能測定値(市民計測)

(HORIBA Radi) 単位 (μSv/h) 地上50cm

9/10 晴 市役所分庁舎前 0.061

9/10 晴 市役所本庁ロビー 0.082

## ECONET INFORMATION

### ▲地球を守ろう！

谷口たかひささん(環境活動家)講演

10月5日(火) 16:00-18:00

藤沢市民会館小ホール&オンライン

申込み: [gojiaiclub@gmail.com](mailto:gojiaiclub@gmail.com)

主催 Shonan GOJIAI Club・Congee Table



### ▲ふじさわ平和文化展

10/12~10/17 藤沢市民ギャラリー

(旧小田急百貨店6階) 10:00-19:00

### ▲誰でも環境活動家になれる

とき 10/8・10/10・10/15

基礎編 実践編 特別編 があります

海岸生物観察会 江の島 10/9(土)

主催 エコストア パパラギ

申込み 0466-50-0117 参加費必要

### ▲講演会「ワクチン一般について」&総会

講師 臼田篤伸さん(歯科医師)

10月24日(日) 14:00 済美館

主催 武田問題対策連絡会 ☎080-5099-4264

### ▲「藤沢市環境基本計画」「藤沢市地球温暖化対策実行計画」パブコメ募集

期間 10/14(木)~11/12(金)

市内在住・在勤・在学者等 書面・郵便・FAX・ホームページ上の専用フォーム・その他、適当な方法で提出を。 提出先 環境総務課まで

### ▲藤沢エコネットから

◆会員募集 年会費・購読料→2000円

◆事務局会議 10月2日(土) 10:00~  
六会公民館

《編集後記》いつの間にか秋らしくなって涼しい風にほっとすることもある。東京オリンピック・パラリンピックが終わり、注目はメダルの数だった。その間に自宅療養者のコロナ感染者は全国で200人以上が亡くなった。臨月の妊婦が病院に搬送されず赤ちゃんが死んだことは、何とも痛ましい。医療ひっ迫はあってはならない。緊急事態宣言解除されたが、第6波が来ては困る。あらゆる方法で収束の手を打つのが政府だ。(H)